

## 事業概要シート

施策	1305	林業の振興	《》の金額	現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く	
事業名	市有林再整備等振興事業	現状維持	予算額	5,082 千円 《 5,082 》千円	
事業期間	平成5年度 ~		財源内訳	国庫支出金	千円
根拠法令 要綱等	森林法			県支出金	千円
				地方債	千円
				その他	千円
			一般財源	5,082 千円	

### 【事業の目的・概要・対象】

#### 事業目的

「すわの森(上諏訪町 市有林直轄林)」をはじめとした市有林の育成、再整備、森林整備の計画  
市有林のうち保安林である「すわの森」は、森林の持つ公益的機能のうち特にゆとりなどの保健、生活環境の保全や機能の増進を図り、多くの市民の利用につなげるため、森林レクリエーション活動の場として平成5年度までに整備した。整備から30年が経過したため、芝生広場や遊歩道等の再整備を行い、市民生活へゆとりを提供する。このほか、野岳湖公園周辺の市有林等の活用も検討する。  
また、植樹を行い、空気の浄化(二酸化炭素の吸収)のほか、水源の涵養や山地災害の防止を図る。

#### 事業内容(例)



**【維持管理計画】**  
 ・トイレと東屋の施設管理(清掃など)、自然林下刈り  
 ・不用木伐採、低木刈込、防火かん水池清掃など

**【再整備、森林整備計画】**  
 ①芝生広場整備(約550㎡)  
     芝の張替、天然芝管理、東屋再生  
 ②林内管理歩道整備(約400m)  
     ロープ設置(ルート明確化)、案内看板や樹名板設置など  
 ③森林整備  
     枯損木の植替え(植替え約400本)  
 ④測量、設計(1式)  
     上記事業の実施に必要となるコンサル業務

市民に親しまれる森林づくりを図るためには、保安林としての機能を復活させるだけでなく、都市化が進みつつある当地区の緑の防御線として、市街地に近い森林を介したやすらぎの場を維持及び整備する必要がある。このため、芝生広場や遊歩道等の再整備を行う。このことにより、空気の浄化(二酸化炭素の吸収)のほか、水源の涵養や山地災害の防止につながる。

担当課	農林水産部 農林水産整備課	課長	山本 雅喜
担当者	永田 毅郎	問合せ先	0957-53-4111 (内線254)

## 事業概要シート

### 【活動指標】

指標名		単位	R 6 (実績)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)	R 10 (計画)
①	遊歩道整備	計画値	m	0	0	0	0
②		計画値					

### 【成果指標】

指標名		単位	R 6 (実績)	R 7 (計画)	R 8 (計画)	R 9 (計画)	R 10 (計画)
①	遊歩道整備率	計画値	%	0	0	0	0
②		計画値					

### 【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	合計
事業費	1,861	8,535	5,082	3,432	20,683	18,582	58,175
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他					18,000	13,500	31,500
一般財源	1,861	8,535	5,082	3,432	2,683	5,082	26,675
人件費	3,131	2,720	3,352	3,352	3,352	3,352	19,257
職員(人)	0.43人	0.36人	0.41人	0.41人	0.41人	0.41人	2.43人
時間外勤務(h)	2h	51h	185h	185h	185h	185h	793h
会計年度任用職員(人)							0.00人
フルコスト	4,992	11,255	8,434	6,784	24,035	21,934	77,432

妥当性 (市の関与)	市の施設であるため、施設や森林整備をすることを市の責任において実施する必要がある。
有効性 (施策貢献度)	本事業を行うことで、空気の浄化、水源の涵養や山地災害の防止にもなり、また、市民が施設を使用することで、コミュニケーションの場になり、また、施策貢献度は高い。
効率性 (コスト)	企業版ふるさと納税を活用して事業を実施するため、一般財源への影響は少ない。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり